

設計図書に関する質問回答書		
工 事 名	(仮称) 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設新築工事	
質 問 事 項	回 答	
<p>1) 屋根 B カーガルバリウム鋼板の厚みについておたずねします。参考内訳書 P46 では厚 0.5mm、仕上表及び矩計図では厚 0.4mm となっております。どちらを正と解釈するのでしょうか。</p> <p>2) A-031 図 屋外階段詳細図では現場 DP 塗装、S-045 図では亜鉛メッキと明記されております。</p> <p>参考内訳書 P26 及び P72 では現場塗装と解釈できますがどちらを正と解釈するのでしょうか。</p> <p>3) A-063 図 屋上キュービクル点検用歩廊⑦では現場 DP 塗装、参考内訳書 P30 では溶融亜鉛メッキと明記されておりますがどちらを正と解釈するのでしょうか。※点検歩廊階段も同様</p> <p>4) A-63 図 屋上設備基礎⑦では現場 DP 塗装、参考内訳書 P31 では溶融亜鉛メッキと明記されておりますがどちらを正と解釈するのでしょうか。</p> <p>5) A-63 図 太陽光設備基礎⑦では現場 DP 塗装、参考内訳書 P32 では溶融亜鉛メッキと明記されておりますがどちらを正と解釈するのでしょうか。</p> <p>6) A-60 図 LSW1 及び 2 の H 寸法は 1,800、参考内訳書 P66 では H1,600 と明記されておりますが</p> <p>どちらを正と解釈するのでしょうか。</p> <p>7) S-028 図 P33 及び P45 の杭種別及び杭実長が図面と参考内訳書 P17 では異なります。どちらを正と解釈するのでしょうか。</p>	<p>1) 厚 0.4mm が正です。</p> <p>2) 現場 DP 塗装が正です。</p> <p>3) 溶融亜鉛めっきが正です。</p> <p>4) 溶融亜鉛めっきが正です。</p> <p>5) 溶融亜鉛めっきが正です。</p> <p>6) H1,800 が正です。</p> <p>7) P33 : 上杭: φ 600 PHC105N-C 種 L=7.0m+ 下杭: φ 600 PHC105N-A 種 L=6.0m P45 : 上杭: φ 600 HSC105N L=6.0m+下杭: φ 600 PHC105N-C 種 L=5.0m が正です。</p>	

<p>8) S-028 図 P24 及び P45 の杭種別は HSC、参考内訳書 P17 では SC105N となっており異なります。どちらを正と解釈するのでしょうか。</p> <p>9) 杭間ざらいの杭径について、参考内訳書 P15 の摘要では <math>\Phi 350 \sim 600</math> となっておりますが、P12 <math>\Phi 800</math> 及び P11 <math>\Phi 900</math> についてはどのように解釈すればよろしいでしょうか。</p> <p>10) 参考内訳書 P20 の防水押えコンクリート及び嵩上コンクリートは、ポンプ圧送及びコンクリート打設手間も含まれると解釈してよろしいでしょうか。</p> <p>11) 参考内訳書 P16 の捨てコンクリート地業についておたずねします。強度が FC-15 と明記されておりますが、FC-18 と解釈してよろしいでしょうか。</p> <p>12) パネルゲートについて、特記仕様書 9 では <math>H=2.0m</math>、<math>W=6.0m</math>、仮設計画図 (A-300) 及び参考内訳書 (P127) では <math>6.8 \times 4.5</math> となっておりますが、<math>6.8 \times 4.5</math> が正と解釈してよろしいでしょうか。</p> <p>13) 杭残土についておたずねします。特記仕様書 P5 に明記されている太陽建設(株)に見積依頼をしましたが、現在受入はしていないとのことでした。代替候補地をご指示願います。</p> <p>14) A-301 図 ③敷地南側において雨水貯留槽 C がございます。隣地境界側の山留は指定仮設として見受けられますが、土・地業工事は参考内訳書 P15、P16 に含まれているものと解釈するのでしょうか。</p> <p>15) A-205 図 やすらぎ広場において雨水貯留槽 B がございます。土木工事は上記参考内訳書に含まれているのでしょうか。</p> <p>16) A-300 図 杭施工用地盤改良範囲の改良土は参考内訳書 P15 の埋戻し(B種)に使用可能と解釈してよろしいでしょうか。</p>	<p>8) HSC105N が正です。</p> <p>9) <math>\Phi 350 \sim 900</math> が正です。</p> <p>10) お見込みのとおりです。</p> <p>11) S-004 図および内訳書記載のとおり、FC-15 を標準としますが、工事監理者との協議により FC-18 とすることも可能です。</p> <p>12) <math>W6.8 \times H4.5</math> が正です。</p> <p>13) (株) 高谷環境再生センター (千葉県市川市 高谷 1963 番地) としてください。</p> <p>14) 参考内訳書 P98 に含まれています。</p> <p>15) 参考内訳書 P98 に含まれています。</p> <p>16) よいです。</p>
--	---

<p>17) A-300 図 杭重機経路による仮設整備と明記されておりますが、敷き鉄板等の仮設は任意で見込むものと解釈してよろしいでしょうか。</p>	<p>17) よいです。</p>
<p>18) A-300～303 図 新築工事範囲から現場事務所、残土置場廻りに係わる仮設整備は任意で見込むものと解釈してよろしいでしょうか。(仮囲いは指定仮設で認識)</p>	<p>18) よいです。</p>
<p>19) 参考内訳書 P98 外構造成工事の明細内容は、P99(舗装工事)、P100(囲障。縁石工事)、P101～102(付帯工事)、P103(雨水排水工事)、P104(電気設備工事)、P105(撤去工事)内の土工事は含まれていないものと解釈してよろしいでしょうか。</p>	<p>19) 参考内訳書 P98 に含まれています。</p>
<p>20) 鉄骨工事における錆止め塗装についておたずねします。参考内訳書では鉄骨現場錆止め塗料塗りの項目がございます。S-004 図 6. 鉄骨工事 (6)防錆塗装では工場 2 回塗りを標準と見受けられます。ボルト接合部及び接合部等を現場塗装と解釈してよろしいでしょうか、それとも現場で 2 回目の塗装を実施するのでしょうか。</p>	<p>20) 現場で 2 回目の塗装を実施する想定です。</p>
<p>21) ハナモモのサイズが内訳書、図面共記載がございません。 大きさをご指示願います。</p>	<p>21) 樹高 2.5、目通り 0.1、葉ぶり 1.2 です。</p>